

農地からの土砂流出対策について(大雨・台風時)

【土砂流出対策、農業用施設の事前点検】

農地において市では、過去に土砂流出が発生した箇所や発生の恐れがある箇所に、土砂流出防止柵の設置や土のう袋の配布等の支援を行っています。農業者の皆様のご協力により、大雨の際の農地からの土砂流出は減少傾向にあります。

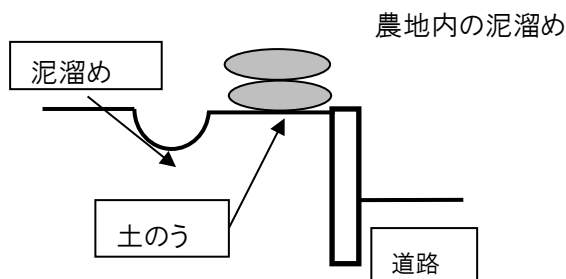
しかし、予想を上回る規模の大雨、台風の際の被害を未然に防ぐために、継続して対策を実施していく必要があります。土砂流出被害を未然に防ぐためにも以下のような事前の対応をお願いします。

大雨・台風の影響が考えられる場合の対策方法

| | |
|------|---|
| 圃場管理 | ○畑の際まで耕うんしないようにします。 ○畑に溝（泥溜め）などを掘り、土砂がすぐに畑の外へ流れないようにします。 |
| 流出防止 | ○土のうを積むようにします。（法肩部分に2段以上積むのが効果的です。） |
| 日常管理 | ○こまめに排水溝を清掃するようにします。 ○溝が埋まったままにならないよう、こまめに泥をあげるようにします。 |

※土のう袋が必要な場合は、農政事務所までご連絡ください。

※このほか、農地内にある農業用施設や看板など、風で飛ぶことがないか、倒れて周辺に被害を及ぼすことがないかなど、あらかじめ点検をお願いします。



横浜市みどり環境局
 北部農政事務所 TEL948-2480
 南部農政事務所 TEL866-8493